

8/20

大きく育てね
新町保育園児、クロダイの稚魚放流

「つくり育てる漁業」の推進を図るため、漁業関係者らが市内外の漁港6カ所でクロダイの稚魚の放流を行いました。これは、漁業者と氷見漁業協同組合でつくる氷見市水産多面的機能発揮対策協議会と日本釣振興会が、豊かな海づくりの一環として毎年実施しているものです。

氷見漁港では、かわいい魚の帽子を被った新町保育園の園児 24 人が約 6cm のクロダイの稚魚を海へ優しく放ち、成長を願いました。

今回、放流したクロダイの稚魚計7万 6,500 尾は、2 年後には 20cm ほどにまで成長します。

8/20

温もりあふれる新校舎で
西の杜学園竣工式

義務教育学校「西の杜学園」で竣工式が行われ、児童・生徒、職員らがこれから始まる新校舎での学校生活に胸をふくらませました。

西の杜学園の校章は、旧西部中学校の「3本の校章」を引き継ぎ、「校区 3 地区の団結」と「児童生徒の学習意欲の象徴」を表しています。校歌は、昭和 38 年作曲の旧西部中学校のメロディーを引き継ぎ、児童生徒から募集したキーワードを基に4小中学校の教職員が作詞しました。

式典では、8・9 年生がこれからの学校生活、竣工のお礼を込めて合唱し、気持ち新たに 2 学期をスタートしました。

9/2

手を取り、優しく声をかけながら
海峰小学校・阿尾保育園で合同避難訓練

地震による津波や原子力災害を想定した避難訓練が海峰小学校で行われ、子どもたちがもしもの災害に備えました。

訓練は「震度5強の地震で高さ 8 メートルの津波が発生した」との想定で実施。緊急地震速報の発令とともに子どもたちは机の下に身を隠し、落ち着いて避難を開始しました。5・6 年生は、隣接する阿尾保育園の園児たちの手をつないで津波の達しない 2 階の教室へ誘導し、命を守るための行動を確認していました。

